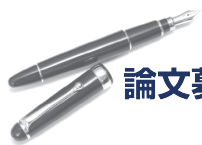


投 稿 規 定



論文募集のご案内

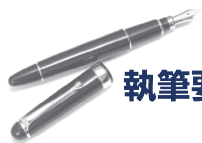
『保健師ジャーナル』編集室では、読者の皆様からの研究・調査報告・活動報告などのご投稿をお待ちしています。掲載に当たりましては、些少ですが原稿料と掲載誌をお送りいたします。ただし、国内・国外を問わず、他誌に掲載されたもの、または掲載予定のもの、投稿中のもの、第三者のホームページに収載または収載予定のものはご遠慮ください。

■原稿送付先

〒113-8719 東京都文京区本郷郵便局私書箱第5号
医学書院看護出版部『保健師ジャーナル』編集室
ご不明の点は、下記までお問い合わせください。
TEL. 03-3817-5774, FAX. 03-5804-0485
E-mail: hokenshi@igaku-shoin.co.jp

■論文の採否

- 投稿論文の採否は論文審査委員の査読を経て決定します。審査の結果、原稿への加筆・修正をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ご投稿より採否の通知をお送りするまでに、約3～5か月頂戴します。査読委員会の日程の都合上、3月31日、7月31日、11月30日を規定の締め切りとします。規定の締め切り日が休日・祝祭日にあたる場合は、その前営業日を締め切りといたします。



執筆要項

■募集論文の種類および分量

- 論文の種類：研究、調査報告、活動報告など
- 分量：8000字程度（図表含む）。研究、調査報告には要旨を600字程度で付けてください。
- ご注意いただきたい点
- 図表は、本文とは別紙に記載し、本文に挿入箇所を明記してください。
- 本文とは別に表紙を付け、論文の種類、題名、著者名、所属と肩書き、施設住所を明記してください。
- 共著の場合は、校正者を指定してください。著者校正は原則として1回行います。
- 論文審査の迅速を図るため、原稿には必ず**コピー2通**を添えてお送りください（印刷の際は、両面印刷はお控えください）。なお、ご投稿いただいた論文は原則としてお返ししませんので、コピーをお手元にお置きください。また、原図や写真、スライドなどを採否にかかわらず事後返却を希望される場合は、その旨を朱書きで明記してください。
- 他誌（書）からの図、表、写真の転載・引用をする場合は、必ず出典を明記してください。原著者および出版社の許諾

が必要な場合がありますので、ご注意ください。

- 個人情報の扱いについては、十分な配慮と、必要な場合は同意を得てご執筆ください。
 - 外国語名は原語のままで、手書きの際は1マスに2文字ずつ入れてください。なお、国名、人名などで一般的なものはカタカナ表記で結構です。
 - 文献リスト作成上の注意
 - 本文中に引用された文献はすべてあげてください。参考文献は多すぎる場合には削除していただくことがあります。
 - 文献の記載順序は引用順とし、本文中の引用箇所には肩番号を付けて照合してください。
 - 文献の書き方は以下のように統一してください。
 - 日本の雑誌文献
著者名：論文タイトル－サブタイトル、雑誌名、巻数（号数）：論文始まり頁－終わり頁、発行年。
 - 海外の雑誌文献
著者名：論文タイトル；サブタイトル、雑誌名、巻数（号数）：論文始まり頁－終わり頁、発行年。
 - 日本の単行本
著者名：書籍タイトル－サブタイトル、版数、pp引用始まり頁－終わり頁、出版社名、発行年。
 - 海外の単行本
著者名：書籍タイトル；サブタイトル、版数、pp引用始まり頁－終わり頁、出版社名、出版社所在地、発行年。
 - 翻訳書
原著者名、原著発行年／翻訳者名：翻訳書タイトル－サブタイトル、版数、pp引用始まり頁－終わり頁、出版社名、発行年。
 - 編集書籍の一部
章の著者名：章のタイトル－サブタイトル、書籍編者名：（シリーズ名）書籍タイトル－サブタイトル、版数、出版社名、pp章の始まり頁－終わり頁、発行年。
 - 海外の編集書籍の一部
章の著者名：章のタイトル；サブタイトル、in 書籍編者名：書籍タイトル：サブタイトル、版数、pp章の始まり頁－終わり頁、出版社名、出版社所在地、発行年。
- ※版数は、2版以上のものにお付けください。
- ホームページからの引用
引用元のURL〔引用のため確認した日付〕

■著作権について

- ご執筆いただく原稿の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳（翻案）権、2次著作物利用権・譲渡権を弊社に譲渡していただくようお願いいたします。これは、すでに実行しているオンラインジャーナルへの掲載やデータベース化した後の文献配信などを行うのに、上記の権利譲渡が著作権上必要となるためです。
- またこれにより、第三者がご執筆者の論文を勝手に配信したり、無断転載をした場合には、小社が代理人として違法行為を摘発することが可能となります。
- ご執筆者自身のホームページ上で論文を公開したり、著作論文集をまとめる際には、お申し出いただければ、雑誌発行後ある程度の猶予をお願いする場合もありますが、原則的にご自由にお使いいただけます。